



「家庭は教育の原点」

校長 古里和彦

本校の学校経営方針にも、令和3年度から「めざす家庭像」を掲げていますが、鹿児島県教育委員会が発行しているリーフレット、「みんなで支えるかごしまの家庭教育 家庭教育1・2・3～キホンをホンキで～『規範意識を育むために』」を紹介します。

家庭は教育の原点であり、家庭教育はすべての教育の出発点です。子どもが家で身に付けたことは生涯ずっと生き続けます。

その1 子どもとの会話を大切にしよう！

話せばわかるとは限らないが、話さなければもっとわからない

子どもは家族との会話から、周囲の人に大切にされている、支えられている、認められているという実感を持ち、これが規範意識を高める土台にもなります。食事や家事を一緒にする中で、その日にあったことを話したりして、子どもとの会話を増やし、子どもの気持ちを丸ごと受け止めましょう。



その2 我が家の約束事やルールを作ろう！

ルールってだれのためにあるんだろう

子どもは、家庭での約束事やルールを守ったり破ったりしながら、社会のルールの大切さを学んでいきます。家庭内でよく話し合って一貫性のあるルールをつくり、親子で守っていく中で、子どもたちにルールがなぜ必要なのかを実感させましょう。

その3 間違っただけはしっかり叱ろう！

厳しく叱られたけど今ではそれに感謝しています

子どもは、初めに家庭の中でしてよいこと、してはいけないことを学んでいきます。正しいしつけは子どもへの大切な贈り物です。間違っただけには、何がいけないか理由をきちんと伝え、愛情をもって本気で叱り、逆に良い行いには心からほめる言葉をかけてあげましょう。

その4 子どもに我慢を覚えさせよう！

子どもの要求をすべて受け入れることが親のやさしさとは限らない

安易にモノを買い与え過ぎると、子どもは努力したり、我慢したり、工夫しなくなり、自分の気持ちを抑えられなくなります。我慢させることは、子どもが自分の気持ちを振り返り、社会の仕組みを考えていくきっかけにもつながります。欲しいと言ったら、なぜそれが必要なのか親子でよく話し合ってみましょう。

その5 子どもに命の大切さを実感させよう！

みんなそれぞれが世界でたった一つの命なんだ

身近な人の死を目の当たりにすることが少なくなったり、ゲームなどで虚構の死に慣れたりして、命の重さやかけがえのなさを感じにくくなっています。自然の中で遊ばせたり、動物や草花を育てたりするなど、さまざまな機会を意識的に用意し、子どもに命の尊さや大切さを実感させましょう。

その6 子どもに夢や希望を語らせ、励まそう！

夢は人を育てる 夢をもつと人は強くなる

人は夢や希望をもつことで、困難なことにも前向きに立ち向かおうとしたり、甘い誘惑に惑わされずに前に進もうとしたりするものです。子どもは子どもなりに夢や希望をもっています。どんなに小さなことでも、親の思いと合わないものでも、その夢や希望を語らせ、励ましていきましょう。

その7 社会性を身に付けさせよう！

誰も一人だけでは生きられない

子どもはさまざまな年代の人と一緒に活動する中で、違う考え方や価値観に出会い、我慢したり譲ったり交渉したりしながら、社会性を身に付けていきます。親子で、地域活動やボランティア活動等に、できるだけ参加する機会をつくり、子どもに「自分は社会の一員だ」という意識をもたせましょう。

その8 よりよい社会をつくらうとする姿を見せよう！

あなたの生き方が子どもへの最高の教育になる

これからの社会には、問題を解決するために自分で考え、工夫し、行動する人が求められており、そのためにも自律的な規範意識を育む必要があります。子どもが社会のできごとに関心を持ち、かかわらうとする気持ちをもてるように、親自身が自らよりよい社会をつくらうとする姿を子どもに見せましょう。

私たち教師はもちろんですが、保護者の方も子どもの成長とともに、子どもを育てることを学び続けていかなければならないのではないのでしょうか。私自身も子育て世代として、「その8」までを再度見直しながら子育てをしていこうと思います。

食育の授業

1月23日(月)は、柴とうふ店の柴さんと西部調理場栄養教諭の渡邊先生をお招きし、1年生を対象に「食に関する授業」を実施しました。柴さんは、豆腐づくりの工程を動画や写真を使って詳しく説明してくださり、子どもたちへ「好き嫌いをなくして欲しい」と、食に関わる立場としての想いを述べてくださいました。渡邊先生は、献立作りの話をしていただいた後、子どもたちの給食のようすも見ていただきました。今回の食に関する授業を通して、感謝の気持ちを持つことや命の大切さへの理解を深めることにつなげて欲しいと思います。



屋久島型ESDウィーク

「つながり、新たに見つけよう!!『屋久島再発見』」をテーマに、町内の各校が取り組んできたことを発信し合うことで、新たな屋久島の魅力に気づき、屋久島の未来や持続可能な社会の実現のために何ができるかの考えを深めることを目的に実施しました。杉下先生からの助言や提案をいただいたので、今後はより発展的で応用的な取組になることを期待しています。



果樹栽培学習～タンカン収穫～

2月10日(金)、タンカンの収穫を行いました。今年は収穫できる数も少なかったですが、なんとか全校生徒に分配できる量は確保できました。来年度は、苗木を育成していく活動になります。数年後に立派な果実が実るように、大切に育てていきたいです。



考古学講座

2月9日(木)、埋蔵文化センターの中野先生、上浦先生を講師にお招きし、全校生徒を対象に、考古学講座を実施しました。講座の内容は、埋蔵文化財センターの仕事内容や、鹿児島・屋久島の遺跡についての紹介などを詳しく説明していただいたり、土器の接合体験もさせていただいたりなど、考古学についての興味関心が高められる充実した時間となりました。



屋久島ジュニア検定

難関の「屋久島ジュニア検定」が12月10日に行われ、その結果が2月初旬に届きました。今回の中学生の合格者数は254人中13人、合格率はなんと、5.1%でした!さらに、この検定では、3回目合格者のみに贈られる『博士認定』の称号があり、今回は全対象者の中で4人、そのうち3人が本校の生徒でした!素晴らしい快挙です。おめでとうございます!



3月の主な行事



- 3月2日(木)～3日(金) … 公立高校学力検査
- 3月10日(金) … 送別球技大会・第5回PTA理事会(新旧理事会)
- 3月14日(火) … 第41回卒業式
- 3月15日(水) … 公立高校合格発表
- 3月22日(木) … 学校関係者評価委員会
- 3月23日(木) … 小・中連絡会(14:00～)
- 3月24日(金) … 修了式、離任式
- 3月25日(土) … PTA主催送別会(予定)

